

小坂光之介さん死去 名大柔道部師範、井上靖小説にも登場

名古屋大学柔道部の師範で、井上靖の自伝的小説「北の海」の登場人物のモデルだった小坂光之介(こさか・みつのすけ)氏が十五日午後三時二十八分、心不全のため、岐阜県関市の病院で死去した。九十一歳だった。

「北の海」は「しろばんば」「夏草冬涛(なみ)」に続く井上靖の自伝的三部作の第三作。大正末期が舞台で、小坂さんは旧制四高(現在の金沢大学)柔道部入部を目指す浪人生「大天井」として描かれている。小坂さんは四高には入学できなかったが、同校の柔道教師として採用され、柔道人生を歩んだ。一九六七年からは名古屋大柔道部師範を務めていた。

九四年六月、心筋こうそくのため道場で倒れて以降も柔道着姿で指導を続けていた。家族の話では、十五日は岐阜県中濃地区の柔道連盟総会に出席するため自宅を出たが、会場に行く途中で倒れたという。